

十 勝 支 部

2024年10月17日◇

若手も中堅もベテランも、58名が学び合い、

<活動のねらい>

十勝管内の学校保健体育教育の発展を期し、会員相互の資質能力向上を目指す。管内小中学校の教職員の保健体育教育の実践指導力と理論研究の交流を図ると共に、管内小中学生の体力・運動能力を高める。

(1) 総会「2024年6月18日(火)」

- 活動方針・事業決定

(2) 事業計画

- ① 十勝管内教育研究サークル合同研究会の参加
 - 期日 2024年11月22日(金)
- ② 十勝管内学校保健体育研究サークル研究会の開催
 - 期日 2024年11月22日(金)
- ③ スキー実技講習会
 - 期日 1月中(冬季休業中)
- ④ スキー授業事前学習へ講師派遣事業
 - 期日 1月下旬～2月上旬
- ⑤ スケート授業事前学習へ講師派遣事業
 - 期日 12月下旬～1月下旬
- ⑥ その他の実技講習
 - 十勝教職員研修センター講座講師派遣
「体育」講座：渡邊 慎二 主幹教諭(鹿追町立鹿追小学校)
高木 大輔 教諭(清水町立清水中学校)
 - 各町村サークル事業との連携・協力など
- ⑦ 授業研究の推進
- ⑧ グループライン、グーグルサイト・クラスルーム、を活用した情報共有
 - 活動状況などを会員と共有し、サークル員の意識高揚を図り、連帯感を高めている。



～夏の研修会の実技研修より～
教具の工夫で、剣道はできる。「痛く竹刀」の紹介。研修したことの実践予定を、サークル員で共有しました。

(3) 各種研究授業、研修会実施

- ① 研究部・研究授業
- ② 夏の研修会
- ③ 授業参観、研究協議、指導案検討

「夏の研修会」では
○日ごろの授業づくりについて情報交流
○授業実践、各種研修報告
○今後の研究の方向性の共有
○実技研修

(4) 研究内容について

研究主題 『自ら創り 共に学び合う体育学習』

～「気づく」「かかわる」「できる」子どもの育成～

《研究の視点①》 教材化と学習過程(気づく・できる) *課題解決的な学習の確実な取組

《研究の視点②》 学び合い(かかわる・創る) *見方・考え方を豊かにする

やがて来る次回全道研開催に向けて実践と研究をつないでいきます